

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27年 6月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673900108
法人名	医療法人 トウスイ会
事業所名	グループホーム みのり園
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1358-2 (電話) 0996-52-0122
自己評価作成日	平成27年 3月 4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成27年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

町の中心部に母体病院と隣接してホームが設置されており利用者様は診療や機能訓練など無理なく受ける事が出来る。
職員は基本理念を毎朝復唱し、利用者様の尊厳を守るケアを目標に取り組んでいる。
生活を営んでいくために必要な作業、例えば掃除や洗濯物たたみなどを皆で共に行い、持てる力を活かすことで利用者様の自信や生き甲斐に繋がっている。
外門や玄関を開放しており、いつでもご家族や友人、知人が立ち寄り易い様環境を整えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

さつま町の中心部の広い敷地内に母体病院、リハビリセンター、薬局と共に2ユニットのグループホームが建てられている。これらの施設がそれぞれの役割をもち、お互い協調、協働しながら地域住民に密着したサービスを展開している。
グループホームみのり園はそれらのバックアップを受けながら、利用者寄り添い、利用者本位のサービスを提供することを理念として、主体性を持った業務を遂行しており、安心安全な生活が送れるように支援を進めている。地域とのつながりも密度が濃く、子どもから高齢者まで出入りも盛んになされており、利用者が住み慣れた生活の延長という実感もできるような配慮されている。ゆったりとした広いリビング、居室も機能的にできており、利用者にあった介護サービスを進めて行こうという意向がうかがえる。
職員の立場、気持ちを大切にしながら業務を進めることにより、それが利用者へ良いケアをしたいという気持ちのサイクルにつながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼時に理念の唱和を行い、職員全員で共有し実践に努めている	それぞれのユニットで理念をリビング中央の壁に掲げて、毎朝の朝礼時や職員会議などに唱和をして確認しあっている。職員は理念を意識して、日々のケアへの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の育成会、公民会の方々と交流している 園だよりを発行し読んでもらっている	利便性のよい場所にあるため、地域の婦人会、ボランティア、保育園の方々の訪問が頻繁にあり、利用者はこれらの機会を楽しみにしている。高校生の実習受け入れとともに、地域の夏祭りや敬老会に参加して地域の一員として積極的に交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	園に来園された方には、認知症の人の理解や支援方法を提供している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的を開催している ご家族、役場、民生委員等の方々の色んな意見を参考にしている また、職員会議で報告し話し合いをしている	会議は2ヶ月に1回、役場の担当者や自治会長、民生委員、消防署職員、家族代表などの参加のもと定期的で開催され、ホームの現況報告とともに委員からの意見や要望を聞いている。避難訓練と合わせて開催した時には、参加者から貴重な意見や感想を頂いている。出された意見等は職員会議の中で協議してサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村担当者と、管理者や協力関係を築く様、色々相談されていると思う	行政の担当者には運営推進会議に出席して頂くとともに、介護保険更新申請等で出向いた際には、制度や困難事例等の相談並びに情報交換を行っている。また、行政主催の合同研修にも参加し、町との連携は密に図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設けて、時々勉強会をしている 職員全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2ユニットでの身体拘束委員会で事例研修の勉強会を行い、身体拘束をしないケアに取り組む姿勢を確認し共有を図っている。事例が発生した際は職員相互に反省し注意し合っている。言葉の拘束には特に注意を払っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員会を設け、議題について、皆で意見を出し話し合っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員は、制度がある事は理解している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ご利用者、家族の疑問点や不安材料を何でも尋ねて頂き、納得頂けるまで説明に心がけている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関入口に意見等の受け箱を設けている 面会の際の意見や要望は記録し管理者や全職員が把握出来る様にしている</p>	<p>玄関には意見箱を設置し、ご家族からは送迎や面会、各種会合などに意見や要望を聞くように努めている。 意見や要望は業務日誌に記録して職員間で共有を図り、業務や日々のケアに具体的に反映できるように取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝礼時や職員会議等での意見を集約し管理者が主任会議で取り上げている</p>	<p>管理者は日頃より、職員の意見や要望、提案は職員会議や日常のケアの中で率直に出されるよう雰囲気づくりに努めている。出された意見等は日々の業務や提供するサービスに具体的に反映できるように取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>運営上できる限りの条件整備に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者研修、消防に関する研修 紙オムツ専門業者による排泄ケアの勉強会を実施 また、未経験者の雇用を促進し働きながら資格が取得できるよう配慮している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者間での情報交換はなされているがネットワークづくりなどには行っていない</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時や入所後も、ご本人とゆっくり話しを聞ける場を設ける		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申請時や入所後の面談時に話し合いの場を設けている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人と家族の実情に応じ、必要な支援を見極め、サービスの紹介を行っている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的な雰囲気大切に、自由でありのままの生活を共にできるような心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族への写真入り近況報告を兼ねた手紙を送ったり行事への参加の連絡を取り協力しあえる関係に努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、友人、知人の方の面会や外出、一時帰宅の支援を行い、大切な関係が途切れないようにしている	利用者の家族や友人、知人の面会は毎日のようにあり、ゆっくりと過ごせるように配慮している。地域の敬老会への参加や一時帰宅のほか、家族と馴染みの美容院に出かけるなど、これまでの関係が途切れることがないように、可能な限りの支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係が上手くいくような雰囲気作りやテーブルの席の配置を工夫したり職員が橋渡しをしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後であってもお見舞いに行ったり、行事があるときはお見に来ていただけるよう声をかけ、関係を継続している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人のこれまでの人生を把握出来るように努めている 困難な場合はご本人、家族の希望意向に出来るだけ添える様心がけている	利用開始時の本人や家族からの聞き取り情報を基本情報として職員で共有を図り、日常生活の中でも変化が見られた際には、利用者の思いや意向を把握するように努め、ケアプランにも反映して日々のケアに活かしている。何よりも本人本位の支援になるように努力を重ねている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、これまでの生活暦や状況を本人、家族、友人知人等か聞き出し把握に努めている 情報をもとに把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の記録、申し送り等で把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者個々に担当者をつけてご家族や民生委員との連携を図りながら、それぞれの意見やアイデアを反映し現状に即した介護計画を作成している	毎月1回ケアプラン会議を開いて個々の状況を検討するとともに、1年に2回はモニタリングを実施している。医師やリハビリの担当者の所見も十分に活用し、職員を担当制にして適切に検討を重ねた介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録等を活用しながら朝礼や申し送り等で情報を共有しながらケア会議で話し合い実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人のニーズを尊重できるような支援に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、公民館、警察、消防など当園への協力をいただきながら安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来る様支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当園の運営主体が病院のため入所時に本人、家族の納得のものと安心して医療がうけられる体制である また歯科、眼科、精神科等も本人家族の希望に沿う支援をしている	かかりつけ医は、入所時に本人、家族と話し合いのもと決めている。隣接している母体病院の訪問診療やリハビリが受けられ、急変時の対応も速やかに行われている。歯科や皮膚科などは本人や家族のご希望に添って受診を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ご利用者の健康状態を常に把握し、情報や気づきを共有しあう事でより良い支援を受けられる様に努力している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者のこれまでの症状や変化を詳しく記録し、情報交換や相談する事で、安心して早期退院できる様努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化や終末期にご本人、家族の意向を尊重できる様早い段階から話し合いを行っている 事業所で出来る事なども説明した上で納得を頂いている</p>	<p>契約時に「重度化対応、終末期ケア対応」のマニュアルを確認して頂き、十分に納得してもらっている。併せて医療連携ができていることをご理解頂き、職員は研修も重ねて安心してサービスが受けられるような体制を築いている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的な避難訓練の中で消防職員の立会の下、応急手当や初期対応の訓練を実施している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>運営推進会議の中で災害対策を議題に十分話し合っている</p> <p>定期的な避難訓練の中で、地域の方の協力をいただきながらの訓練もおこなっている</p>	<p>年2回の災害訓練および避難訓練は、消防署をはじめ、地域の方々やご家族、民生委員などの参加を得て実施している。近隣の施設同士で訓練を相互に見学して学習している。なお、食料や飲料水をはじめとした必要な備蓄品は隣接する母体病院に備えてある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの尊厳を園の理念に掲げ、ケア会議では個々に合った声かけや関わり方を話し合い、ご本人の人格を損ねない様に心がけて対応している	トイレ介助や名前の呼び方、挨拶などは、組織全体で研修し、方法を共有して利用者の人権を尊重した支援に取り組んでいる。守秘義務にも十分配慮して一人一人の人格尊重に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご本人の思いや希望を表わせる様声かけ、自己決定出来る様に働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の訴えを尊重し、その日をどのように過ごしたいのか、実現出来る様に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれが出来る様に好みに合わせて支援を行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きやお茶入れ等準備や片付けを出来る力を活かしながら実施している 食事を楽しめるように、食前の体操や雰囲気作りを心がけている	自立支援を目指して、食事の準備や後片付けなど、一緒にできることを支援している。献立の希望を聞いたり、行事食や外食をはじめとして、花見や遠足では戸外で食べるなど、食事が楽しくなるように多くの工夫をしている。食前に口腔機能を上げる体操も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態を把握をしっかりと無理なくご本にも満足して食べ、水分摂取をしていただく様配慮している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、口腔ケア、義歯洗浄の声かけし、見守りつつ、上手く出来ない方は介助している 義歯も洗浄剤を使用している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの実態、状況を十分把握し声かけしたり、ずれないテープ付きパットを使用して頂いたりして自立に向けた支援を行っている	オムツを可能な限り外すことは基本のケアととらえている。必要な人には排泄チェック表を活用し、時間を見ての声かけのほか、何かの作業を始める前などにもさり気なく声掛けしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの一日の水分摂取等十分把握し声かけしたり、運動など取り入れてスムーズな排便に向けてご利用者と一緒に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	事前に声かけしたり、入浴に対する楽しみなど語りながら喜んで入浴して下さるよう、又気持ち良かったと思って頂けるよう配慮している	ホームは温泉が引かれ、2日おきに入浴を予定しているが、可能な限り希望に添うようにしている。入浴時にはおしゃべりを楽しむ方も多く、拒否される場合には強制はしないで清拭に切り替えるなどの対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況を十分把握し、昼少し体を休めて頂いたり、夜の入眠時間等、声かけしたりして安心して休んで頂いている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院、薬局の指示のもと服薬の支援をしている 症状の変化がみられる時などはすぐ連絡をとり指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を活かした役割分担や趣味を継続できる支援をしている カレンダーめくり、塗り絵、洗濯物の干しやたたみ、散歩等		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の体調に合わせた散歩をしている また、行事などの中に遠方へ外出したり、又出来る方は家族と外出したり出来るよう、相談している	利用者の健康状態や天候を見ながら、日常的に敷地内を散歩している。また、車いすで近くのスーパーまで買い物に行ったり、ご家族と一緒に墓参りにも出かけている。年間行事で遠足もあり、その際はバスで出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人の財布は所持していないが一人ひとりの希望に応じ、使える様に支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話がかかって来た時は、ご本人自らが会話出来る様に支援している。手紙のやり取りなどでは毎年年賀状を出している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日、ご利用者全員で掃除等清潔を環境作りに心掛けている</p>	<p>全体に広々としたスペースであり、明るくゆったりとした生活がおくれている。利用者が作成した季節感のある作品があちこちに飾られ、気持ちが和む環境になっている。また、季節の花も飾られ、静かに流れる音楽も居心地が良い。毎日利用者と一緒に雑巾がけをして清潔な環境づくりにも努め、台所の出入りもしやすい作りになっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル配置の工夫、リビング、ダイニングの利用が自由にできるよう配慮している また、玄関脇やベランダ等に椅子を設置し独りになれる場所を作っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで家で使い慣れた私物やご家族の写真等を居室に置き気持ちよく生活出来る様に支援している	居室はそれぞれ庭に面していて、広さや採光も十分で、畳を使用して利用者にとって居心地の良い快適な環境になっている。それぞれ使い慣れた物を持ち込んでレイアウトして、個々の好みにあった部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレ等、分かり易く表示し安全に利用出来る様 また、混乱しない様に配慮している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念1～5 気軽におじゃったもんせの理念を共有し、ご家族を含め地域の方々、近隣との交流、雰囲気作りを実践している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な散歩などで近隣の方々と会話を交わしたり、公民館活動の参加を積極的に行っている 例えば、子ども会とのふれあい（七夕作り）など定期的な行事も定着している		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	面会に来られたご家族や親戚、運営推進会議の中で認知症の方への関わり、心情などを知って頂き、支援のお願いをしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では当園での細かな状況報告を行い多種方面の方々より意見、提案を頂いている 頂いた意見、提案は職員会議の中で話し合い、より良いサービス向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域ケア会議に参加し、市町村介護保険担当者及び包括支援センターとは常に連携をとりサービスの質の向上に努めている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員を設け身体拘束委員会を実施し常に身体拘束が行われていないかチェックしている 身体拘束委員会で話し合われた内容は職員会議の中で話し合い拘束はしない、させないと周知している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議等で虐待防止について話し合っている (新聞やテレビ等での報道を取り上げて、当園ではおこらない様気を引き締めて注意を怠らない等)		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する制度については管理者や職員は概ね理解している 権利擁護に関する制度については管理者や職員は概ね理解している 必要性のある事例は発生していない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者及び家族が納得されるよう十分な説明を行い、理解、納得されたか確認を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見等の受け箱を設けている。また、面会時等に会話の中で、意見や要望を聞き、運営に反映させる様になっている		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月行う職員会議や、毎日の業務時でも、聞く場を設けている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	運営上できる限りの条件整備に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>病院との連携を保ち、定期的実施される勉強会に参加し園での報告会も設けている</p> <p>他の施設でのセミナー等にも参加し朝礼等で報告も行っている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>相互訪問等の活動はないが管理者間での情報交換はあり参考にしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時、ご本人とご家族を含めた面接の場を設けゆっくりと話を聞いている。また受け止める努力をしサービス開始前からの本人との信頼関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面談時、ご家族等の面接の場も設け、ゆっくりと話しを聞き今一番っているか伺っている。また話す事で安心を得ている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人とご家族の実情に応じ、また相談の内容によりこれまでの経緯を伺った上で対応し、他グループホームやサービスの紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の従来 of 生活環境も考慮しながら人と人が支え合い生活を共に行えるように心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族への近況報告を兼ねた写真入りの手紙、園だより等を送り、一緒に協力しあえる関係作りに努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の意向に沿って年賀状を家族、知人に出したり、ドライブがてらお墓参りやご家族との外出等支援を行っている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの関係が上手くいくような雰囲気作りやテーブルの席の配置の工夫、ご本人が出来る事をして頂き役割を見出す手助けを行っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後であってもお見舞いに行ったり、行事がある時は見に来ていただけるよう声かけ、関係を継続している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人のこれまでの人生を本人、家族、友人知人等から聞き取り把握できるよう努めている 困難な場合でも本人の発する言動の中から探りだせるよう努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、これまでの生活暦や状況を本人、家族、友人知人等から聞いたり、病院や施設の情報をもとに把握している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の記録、申し送り等で把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一人ひとりに専属の担当者をつけ家族や民生委員との連携を図りながら現状に即した介護計画を作成している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録等を活用しながら朝礼や申し送り等で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人のニーズを尊重できるような支援に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、公民館、警察、消防、など当園への協力をいただきながら本人が豊かに生活出来るように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当園の運営主体が病院のため入所時に本人、家族の納得のもと安心して医療が受けられる体制である また歯科、眼科、精神科等も本人家族の希望に沿う支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者の健康状態を常に把握し、小さな気づきでも自分だけのものにせず伝える事でより良い支援を受けられる様努力している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者のこれまでの症状や変化を詳しく記録し情報交換を行い病院関係者とのきめ細かい連携が出来る様関係作りに気を配っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	初回面談時、重度化や看取りについて本人、家族の意向を尊重できるよう十分話し合っている また、事業所でできることなども説明したうえで納得をいただいている 地域の関係者では主に民生委員の方と協働している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な避難訓練の中で消防職員の立会いの下、応急手当や初期対応の訓練を実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>運営推進会議の中で災害対策を議題に十分話し合っている</p> <p>定期的な避難訓練の中で、全職員が避難できる方法を身につけて、地域の方の協力を頂いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者の人格を尊重しプライバシーを傷つけないよう心がけて対応している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者が思いや希望を表現出来る様に声かけ、自己決定出来る様働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のその日その日の体調も違うので、その日をどの様に過ごしたいかを悟りながら実現出来る様に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人に合った、その人らしいおしゃれや身だしなみが出来る様、支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前、後のテーブル拭きや材料の下ごしらえなど出来る力を活かしながら行っている 一緒に食事を摂り、コミュニケーションを取っている その時の季節の物や、時季の物を用意した食事を組み立てている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量のチェックを行いながら、その人の状態や力、習慣に応じた支援をしている また、個々の状態に合わせた経常ミキサー、キザミを提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけを行い、義歯の場合は定期的に洗浄剤を使用し口腔内の清潔を保っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗が減らす様、こまめな声かけ、また介助に入る事で失敗が減り、自信をなくさない様支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排泄確認を実施し、便の状態の把握など行っている また、便秘予防の為、牛乳やバナナヨーグルトを摂取して頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の体調把握し、気持ちよく入浴して頂ける様声かけを行いまた、拒否がある時などは無理強いせず都合に合わせて支援している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で安心して休息、安眠出来る様整理整頓に心がけ、個々の居室という意識を持って頂ける様支援をしている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院、薬局の指示のもと服薬の支援し、理解している 症状の変化がみられる時などはすぐ連絡をとり指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の役割をしてもらい、感謝の気持ちを伝えることで存在価値を高め、また張り合いややりがいを感じて気持ち良く生活して頂ける様支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の体調に合わせた散歩や日光浴等の支援をしている 定期的な行事の中にも遠方への外出を計画に取り入れている。また、ご家族へ相談しながら一緒に墓参りや帰宅の支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>財布所持者は少ないが、持っておられる方については買い物等で必要な物を購入できるよう支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人自らが電話できるよう支援している。 年賀状については出来るだけご本人に書いてもらっている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の掃除等で清潔な環境づくりを心がけている また、季節ごとの飾りつけを施している。 空調や音楽などの音量も時間帯をみて調整している</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル配置の工夫でリビング、ダイニングの利用が自由にできるよう配慮している また、玄関脇やベランダ等に椅子を設置し独りになれる場所を作っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた私物や家族の写真花などを飾り落ち着いた雰囲気でき持ち良く過ごして頂いている</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各所に手摺りをつけて車椅子でも自力でトイレができるよう、また浴室も安全に利用できるよう配慮している</p> <p>また、居室やトイレ等にはネームプレートをつけ、混乱しないよう配慮している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない